

留学先大学： パリ・ディドロ大学（パリ第7大学）
 留学先での所属学部・研究科： 社会科学領域
 留学先での在籍身分： 留学生
 留学期間： 2014 年 9 月～ 2015 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部
 学年（出発時）： 3年
 本報告書記入日： 2014 年 11 月 23 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

インターネットや先輩の話、本などで集めました。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
- 住居（寮、アパート）の名前： Résidence Pitié Salpêtrière
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： 15分、メトロ、RER（またはバス）
- ・住居の周りの環境はどうか。：

大きな病院の敷地内に立地しており、比較的静かかつ、中心部へのアクセスも良好です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的に自炊をしています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

特にありませんでした。（ただし、入寮日にパリ中の留学生が担当オフィスに殺到したため手続きが時間がかかりました）

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） 各学部の秘書のオフィスで登録
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

特になし。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

履修希望の授業がすでに定員オーバーでした。また、授業によっては、それぞれの学部のオフィスを訪ねて履修登録するため、時間通りに秘書の人がいなかったりと少し煩雑でした。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	フランス語 (文法)	Anne Le corre	2 h		20人	学期に2回試験があります。一回目は任意で、二回目は必須です。
2	フランス語 (L'actualité)	Anne Le corre	2 h		15人	レベル4 (B2)・5 (C1)のミックスで、毎週フランスの様々な新聞について学びます。
3	Histoire de la sociologie	C. Haghghat	3 h		30人	ゼミと大講義のセットです。
4	Migrations et relations interethniques	M. Cognet / M. Timéra	3h / 4h		30人	二人の先生が交代で授業をされ、先生によって授業時間が変わります。
5	Anthropologie sociale et culturelle	C. Girola	2 h		30人	学期中に課題図書が出されて、それについてレポートを提出します。
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業時間など先生が決めるため、日本の大学のように、○限目、というような時間区分は存在しません。したがって、昼休みなども各人でまちまちです。パリ7の学生は、日本に比べ積極的に授業へ参加している印象を受けます。課題も多く、正直すべてこなせているとは言い難いですが、興味深い内容の授業が行われています。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	フランス	授業					
11:00	語 (文	(社会学					
12:00	法)	史)					
13:00	フランス	TD、講義					
14:00	語			授業	現地学生		
15:00	(L'actuali	授業		(文化人	と言語交		
16:00	té)	(移民)		類学)	換		
17:00	現地学生	講義		講義			
18:00	と言語交				日仏アソ		
19:00	換				シエー		
20:00					ション		
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

現在、こちらでは社会科学領域に所属し、その中でも社会学コースの授業を主に履修しております。

そもそも、こちらの大学のシステムは、神戸大学のそれとは根本的に異なります。履修登録もオンラインではなく、各学部の秘書（日本でいう教務学生係）の部屋の前に列を作り、一人ずつ登録する、という方式です。これに代表されるように、よく言われることですが、フランスは寮、電気契約、定期的の作成などすべての手続きに時間がかかります。それらを念頭に置いたうえでの交渉が必要です。

パリは、フランスの首都であると同時に、世界有数の大都市です。様々な美術館や歴史的なモニュメントなど観光地としての側面と同時に、エリゼ宮、国民議会、ユネスコなど政治的な側面も存在しています。毎週、市内では様々なイベントやエクスポジションが開催され、友人と足を運んでいます。

大学の話に戻れば、授業は正直かなり大変です。フランスは移民国家であり、また特にパリは様々なオリジンを持つ人が多く、見た目ではフランス人か外国人か判断できません。留学生であっても、特に大きな配慮は無く、他のフランス人学生と同じ課題が与えられます。また、パリ7では、自分の所属領域から最低2つの授業に登録する必要があるため、第二外国語として始めた現在の私のフランス語の能力では、専門の授業についていくのに必死で、来月から始まるレポートやテストを満足のいくところまで、複数こなすのは厳しいと思われます。ただ、それぞれの授業内容はとても興味深く、また2時間、3時間と一つの科目に取り組むことは、その中身への理解がより深まります。友達にノートを見せてもらったり、録音した音声を聞いたりして、フランス語の能力の足りないところを補うよう努力しています。

普段の生活においては、こちらで知り合ったフランス人学生と言語交換をしたり、家でパーティをひらいたりして、友人との仲を深めつつ、毎日楽しく過ごしています。